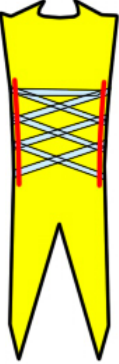
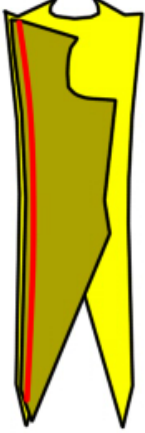
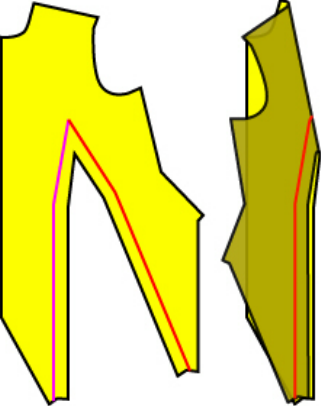
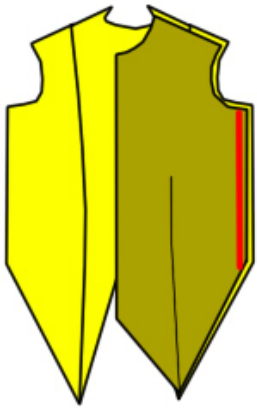
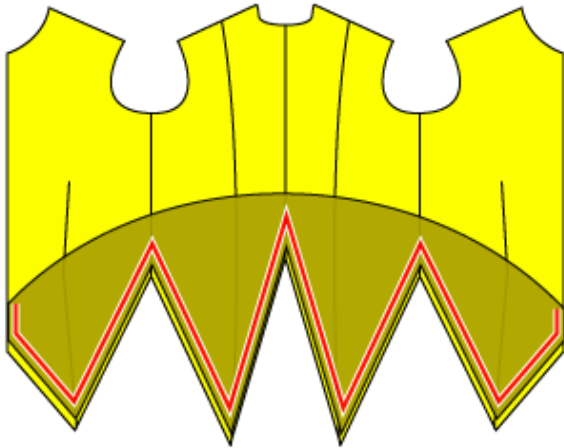
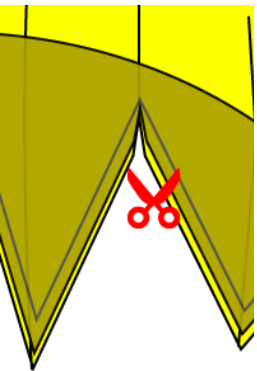
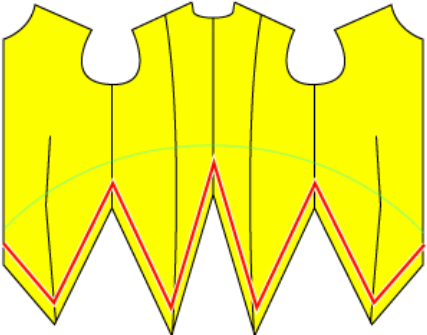
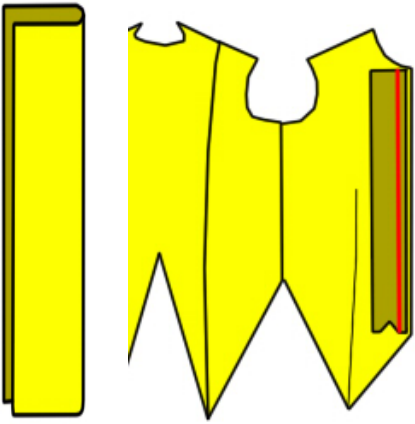
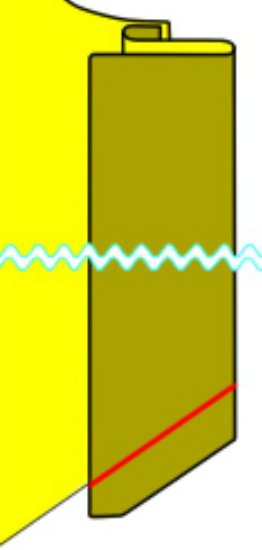

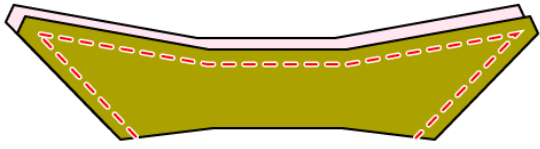
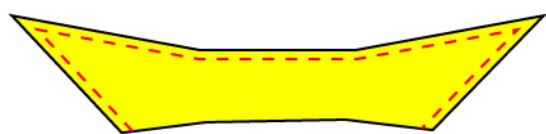
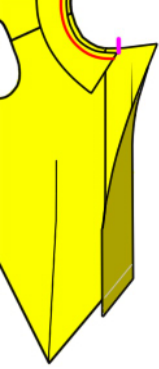
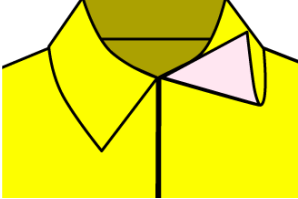
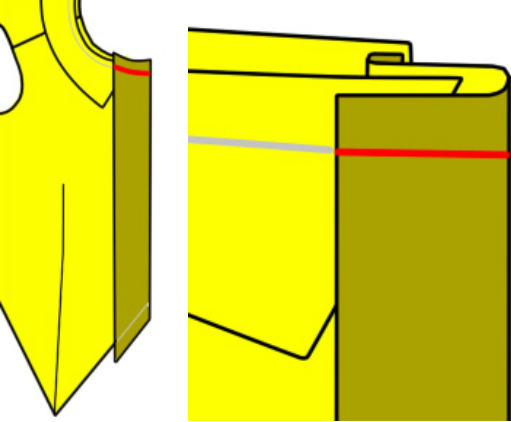
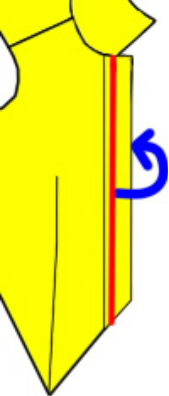

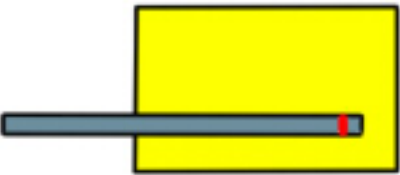
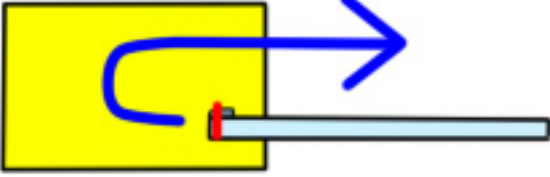

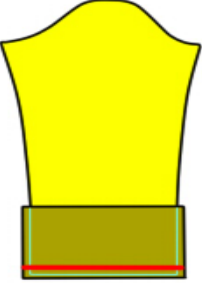
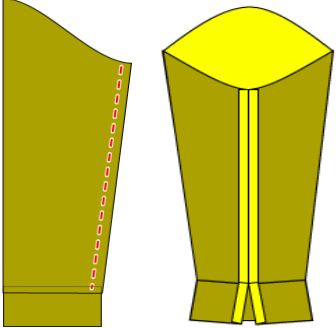
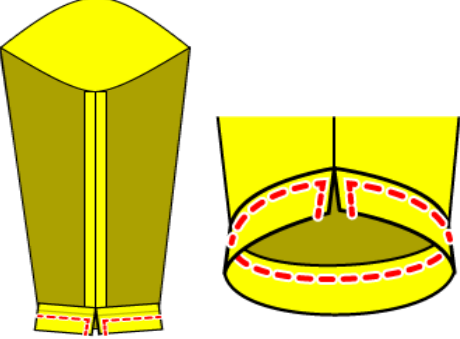
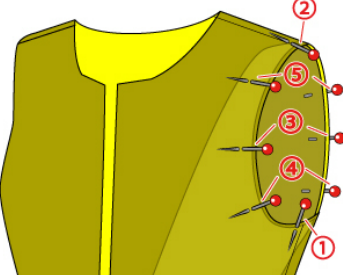

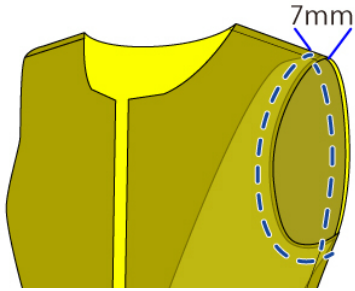

 <p>えりと見返しのパーツは、接着芯、チュールレースなどを使用すると厚みを減らすことができます。</p>	<p>ほつれ止めをしてください。 ほつれどめ液を使ったほつれどめ ヒートカットによるほつれどめがあります ほつれ止め液を使う場合はチャコペンだと液の水分で線が消えてしまうので、熱で消えるペンで型紙を写すと作業がしやすいです。 ※ハンダゴテでとかしながら切るのは化繊限定です。綿や麻の生地はとけないのでほつれ止め液を使ってください。</p>
	<p>後中心に飾りの編み上げリボンを重ね端から3mmくらいの所を縫ってください。</p>
	<p>後中央に後脇を7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>ダーツ（服を立体にするためのつまみ）を7mm幅で縫ってください。</p>

	<p>前身頃（胴体）と後身頃の脇を表側が内側同士になるように重ねて7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>身頃のものすそに見返しを裏を上にして重ねて7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>内の角の縫い代に切り込みを入れてください。 ここに切り込みを入れておかないと、見返しを裏に返した時引きつります</p>
	<p>見返しを裏に返して、アイロンで形を整えるか端から5mmの所を縫ってください。</p>

	<p>前中心の部品をアイロンで縦半分に折り目を付けてください。 持ち出しを広げて身頃の上に裏を上にして重ね7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>アイロンで付けた折り目から逆に折ってください。 下側を前身頃のすその延長線上を7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>前身頃と後身頃の肩を表同士が内側になるように重ねて7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>えりを7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>表に返して端から3mm位の所を縫うか、アイロンで形を整えてください。</p>

	<p>前中心にえりの端がくるようにえりを重ね7mm幅で縫ってください。</p>  <p>別生地でとった襟が見えない向きでえりを重ねてくださいね。</p>
	<p>持ち出しを裏が見える状態のまま上を7mm幅で縫ってください。</p>
	<p>見返しを裏返し、持ち出しの端を3mmのところを縫ってください。</p>
	<p>カフスを作ってください。 中心の線どおりに半分に折ってアイロンで折り目をつけてください。</p>
	<p>リボンは (ドールの手首+15 c m) ÷2を4本切ってください リボンを裏を上においてください。 リボンの端から 5 mmの所を縫ってください。 表に返して。折り山の 3 mm位のところを縫ってください。</p>

	<p>同じように反対側にもリボンをつけてください。</p> 
	<p>そで口に裏を上にしたカフスを7mm幅で縫ってください。 上で付けた折り目と逆向きにカフスを折ってください。</p>
	<p>表側が内側になるようにそでを折ってください。 脇を7mm幅で縫ってください。 カフスの所はあけて置いてください。</p> <p>縫い代を左右に広げてください。 カフスの縫い代も裏側に折ってください。</p>
	<p>カフスを半分に折って、カフスの端から3mmくらいの所を縫ってください。 熱接着の両面テープを貼って、縫わずに接着で作ってもよいですよ。</p>
	 <p>そででは表側が見えるようにひっくり返してください。 裏返したままの身頃の中にそでを入れてください。 脇→肩→印という順に待ち針を刺してください。</p>

	<p>端から7mmの所を縫ってください。 小さくて縫いにくい場合は手縫いでOKです。 人間と違って動かないので力がかからないので手縫いで問題ありません。 高級オーダースーツは手縫いのものもあるので。2~3mmくらいの大きさの縫い目で手縫いをしてください。</p>
	<p>スナップを付けてください。 手縫いするときに糸が長いとからまりやすいので、40cmくらい（肩幅）に糸を切ると縫いやすくなります。</p>

いるもの

生地、スナップボタン3個 生地に合った色の糸

オススメ生地

綿サテン 目の詰まった淡い光沢のある薄手の綿生地です。

綿ブロード 薄手の目の詰まった少し張りのある生地。

色、柄が多く一般的な手芸店でも手に入りやすい。

綿シーチング 薄く柔らかな生地。

色、柄が多く一般的な手芸店でも手に入りやすい